

# 平成30年度 第43回関東中学校軟式野球大会

東海大学付属浦安中学校(千葉) 対 駿台学園中学校(東京)

毎回得点の駿台学園中が決勝進出を決める



南アルプスジットスタジアム	準決勝		開始時刻		15:15	終了時刻		16:30	試合時間		72分		
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	特1	特2	特3	計
東海大学付属浦安中学校(千葉)	0	0	0	0	0								0
駿台学園中学校(東京)	1	2	7	1	×								11

【審判】 球審: 松本 豊和 一塁: 佐野 隆一 二塁: 久保田 千春 三塁: 渡辺 広樹  
 【投手-捕手】 東海大学付属浦安中学校(千葉) 投手-捕手: 濱崎、梅木、工藤-渋谷  
 駿台学園中学校(東京) 投手-捕手: 加藤、宮路-冨安  
 【長打】 二塁打: 冨安(駿台)フォークナー(駿台)  
 三塁打: 森山(駿台)  
 本塁打:

(試合経過) 1回表、東海浦中は先頭の梅木のヒットを足がかりに一死2塁と先制のチャンスを作るものの後続が凡退し先制点とはならず。その裏、駿台学園中は先頭の和田(駿台)が四球を選び出塁。ワイルドピッチで無死2塁のチャンスを作ると、2番冨安(駿台)のタイムリーヒットで1点を先制。続く2回裏にも相手のミスも絡んでノーヒットで2点を加え、リードを広げる。3回表、東海浦中は先頭の5番西村(東海浦)が四球を選び無死1塁とするものの、後続が三振と併殺に倒れ反撃とはならず。その裏、駿台学園中は4番森山(駿台)のタイムリーヒットを口火に6本の長短打を集めると、足も絡めた猛攻を見せ7点を加え序盤で10点のリードを奪う。序盤に大量のリードをもらった駿台学園中の先発加藤(駿台)は直球が冴えわたり、コーナーを丁寧に突く投球で東海浦中打線を抑えていく。反撃の糸口を探す東海浦中は4回表に代打及川(東海浦)を送るものの無得点に終わる。東海浦中は5回表、先頭の西原が四球を選び無死1塁とするが後続が倒れ試合終了。駿台学園中は加藤、宮地(駿台)の完封リレーで決勝進出を決めた。(敬称略)

打順	守備	選手	打席	打数	安打	打点	三振	四死球	犠打	盗塁
1	3・1・3	梅木 颯太	2	2	1	0	0	0	0	0
2	1・3・7	濱崎 晃輔	2	1	0	0	1	0	1	0
3	6	小林 翔	2	2	0	0	1	0	0	0
4	8	鯉坂 賢弘	1	1	0	0	0	0	0	0
	H	及川 康之介	1	1	0	0	1	0	0	0
	8	大野 達裕	0	0	0	0	0	0	0	0
5	5	西村 風汰	2	0	0	0	0	2	0	0
6	4	黒澤 雅規	2	2	0	0	1	0	0	0
7	9	森 悠介	2	2	0	0	0	0	0	0
8	2	渋谷 洋充	2	2	0	0	0	0	0	0
9	7	福島 勝太	1	1	0	0	0	0	0	0
	1	上藤 海	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	17	14	1	0	4	2	1	0



投手	回数	アウト	打者	球数	被安打	奪三振	四死球	失点
濱崎 晃輔	1	3	5	23	1	1	2	1
梅木 颯太	1 2/3	5	14	52	4	1	3	7
上藤 海	1 1/3	4	7	18	2	0	1	3

### チームコメント

**駿台学園中 西村監督**  
 試合前、全中一回戦のつもりで戦うよう声かけをした。攻撃陣が良くなかったが、全中が決まった安心感でバットが振れるようになり、つながりのある攻撃ができた。東京対決になるが、全中につながるよう課題を見つけながら戦いたい。

打順	守備	選手	打席	打数	安打	打点	三振	四死球	犠打	盗塁
1	4	和田 颯生	3	2	1	1	0	1	0	0
2	2	冨安 翔太	3	3	2	3	0	0	0	1
3	6	フォークナー 藤真	3	3	1	1	1	0	0	0
4	3	森山 慎之輔	3	1	1	1	0	2	0	0
	R	齋藤 令慈	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	林 秀星	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1・8	加藤 光太郎	3	3	0	0	1	0	0	0
6	5	成澤 悠太	3	1	0	1	0	1	1	0
	1	宮路 空夢	0	0	0	0	0	0	0	0
7	8	藤岡 良祐	2	1	1	1	0	0	1	2
	H・3	高橋 竜哉	1	1	0	0	0	0	0	0
8	7	善波 優太	3	1	0	0	0	2	0	1
9	9	林 謙吾	2	1	1	0	0	0	1	0
		計	26	17	7	8	2	6	3	4

投手	回数	アウト	打者	球数	被安打	奪三振	四死球	失点
加藤 光太郎	4	12	13	51	1	4	1	0
宮路 空夢	1	3	4	16	0	0	1	0

**駿台学園中 フォークナー主将**  
 準決勝は内容は良かったが、まだ一つひとつのプレーに甘い部分があり、その部分をつめて決勝戦に臨みたい。決勝は東京同士ということもあり、負けるわけにはいかないのので、全力でプレーしたい。

**東海大浦安中 江原監督**  
 全国が決まって気を緩ませてしまった私の責任です。選手たちはよく戦ってくれましたが大変嬉しいです。



第43回関東中学校軟式野球大会公式ホームページ  
<http://www.kawaguchiko.ne.jp/~kato11241101>

